

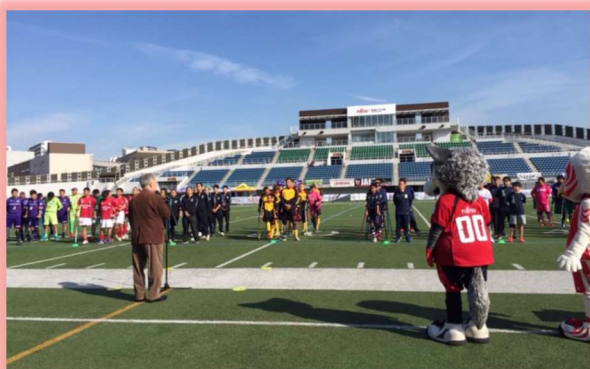
RA関東、「日本アンプティサッカー選手権大会 2018」の運営に協力

レポート:RA東京・早寄和幸、早寄初美

RA関東では2018年11月17、18日の両日、日本アンプティサッカー協会からの要請に応え、神奈川県川崎市・富士通スタジアム川崎で開催された「第8回日本アンプティサッカー選手権大会 2018」の運営に協力し、審判員を派遣しました。

同大会の審判員としては、日本アンプティサッカー協会(JAFA)審判委員長・太田一雄氏および関西協会の中出一大氏を中心に、地元RA神奈川から兼井新一氏、高橋幸治氏、滝沢好一氏、沼端聖美氏の4人、RA東京から早寄和幸氏、早寄初美氏の2人、そしてRA埼玉から松本正志氏、遠藤圭一氏の2人、合計で10人が参加しました。

以下は、初参加したRA東京・早寄初美氏のレポートです。



【Good morning !! アンプティサッカーの夜明け！】

昨年の第7回大会を観戦させていただき、「次回はフィールドで審判員として参加させていただきたいなあ…、私にできるかなあ……」と、漠然と考えていました。参加が実現し、RA神奈川・兼井さんの大会に関する丁寧な説明や熱意、そして何といてもフィールド上の選手の方々の素晴らしいプレーに感動しました。私が勝手に考え、抱いていたイメージが崩れた瞬間です。

競技者としての可能性を最大限に生かしたプレーや、年齢・性別を超えて広くサッカーが世界中に愛され育まれていることを、そして老若男女が共に計り知れない努力の下に輝いている姿に深く感動しました。

開会式も和やかで、観客席のサポーターの太鼓とエールは会場に集ったみんなの心に響き、自然に拍手が湧きあがりました。

私は一日目、第2審判、第3審判、予備審判と3試合で

フィールドに立ちました。15分ハーフ、インターバル10分を全身全霊で取り組みました。試合終了と同時に、身体全体で喜びを感じました。これが、私の心の中の「アンプティサッカーの夜明け！」となったのです。

二日目は決勝戦前のセレモニーで、子どもたちの躍動感あふれるチアダンスのパフォーマンスに、すがすがしいパワーをもらいました。決勝戦のピッチには、まさしく格闘技さながらのシーンが展開して、フェアな戦いもとうとう幕が下りたのです。

「また来年会いましょう！」と、心から叫びたい気持ちになりました。(了)

